

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

Serve to Change Lives



地域から行動で新しい変化を

RI会長 シェカール・メータ

2021~2022

富津中央RC会長 神子 勝美

国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2658 第11回例会 2021. 11. 18 晴

点 鐘：神子勝美 会長

進 行：神子 恒 SAA

ソング：君が代・奉仕の理想

お客様：第2790地区ガバナー 梶原 等 様

ガバナー補佐 鈴木壯一 様

地区大会実行委員長 向後勝弘 様

千葉RC 鈴木裕史 様

グループ幹事 福田順也 様

久保顯彦 様

富津中央RCより4名のロータリアンが表彰されました。表彰者を紹介致します。三枝一雄会員、白石幸久会員、平川恵敏会員、渡辺務会員、表彰された方につきましてはおめでとうございます。

11月12日に開催されました第5グループ「ロータリー情報研修会」テーマ「元気なクラブづくり」に参加し、「DLP・CLPへの取組／財団・米山への寄付推進への挑戦」D2590地区ロータリー財団副委員長 鈴木慎二郎様(川崎マリーンRC)の講話を聴き、DLPとは地区リーダーシッププランだということを知りました。今後クラブの規模が小さくなっていくことを考え、クラブレベルでロータリーを強化していくためには、人財育成をどうしていき地区全体のレベルアップどう強化していくか、ガバナー補佐を出せないクラブも今後出てくると考えられます。そのためには教育・支援が必要で副ガバナー補佐制度の導入も検討しています。

研修に参加しているだけで、終わっていませんか、研修内容を解りやすく会員に伝えて、そしてよく話し合い、丁寧な説明をして会員の理解を得ることが大事ではないでしょうか。

ロータリー財団・米山への寄付について、あまり会員に理解されていないでしょうか、地区としては、お金の使い方の説明をマイロータリー・見える化でグループ別に掲載するようにしました。

ロータリー財団の92%は寄付金に使われ、米山については81%が米山奨学会に使われ無駄には使用されていません。

会長挨拶

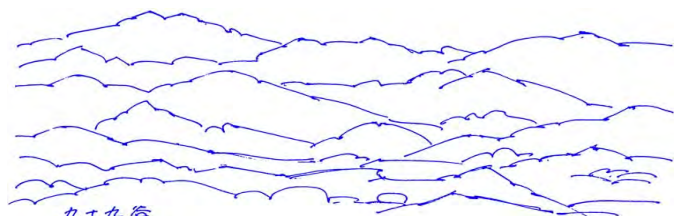
神子勝美 会長



ご安全に！！ 本日は、ガバナー梶原等様、ガバナー補佐鈴木壯一様、地区大会実行委員長向後勝弘様、鈴木裕史様、グループ幹事福田順也様、ゲスト久保様、をお迎えしております。本日はよろしくお願ひ致します。

11月14日、富津市市制施行50周年記念式典に招待され、参加しました。旧天羽町、旧大佐和町、旧富津町、3町が昭和46年に合併し、富津市が誕生しました。その間富津市に、ご尽力されました64名の方が市制施行50周年記念顕彰者表彰を受け、

〒293-0043 富津市岩瀬 841-3
いち川旅館
Ichikawa ryokan
841-3 Iwase Futtsu-shi Chiba-ken,
293-0043
Tel. 0439-65-0177 Fax. 0439-65-0178
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



無関心・無気力・無感動が一番怖いです。無関心・無気力にならないで感動を忘れないで下さい。ロータリー活動は、する側される側も幸せになること、同じ会費を払っているのだから楽しまなければ損、楽しんで活動をしていくことが大事だということでした。

※皆さんロータリー活動を楽しみましょう。

幹事報告

岡田良弘 幹事



1. コーディネーターNEWS年12月号を受領。
2. 第3地域ロータリーコーディネーター補佐庄司様より「ARCのつぶやき」の題目と第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター山下様よりロータリーの公共イメージの重要性についてそれぞれ回覧。
2. ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュースハイライトよねやまを回覧。
3. 2021-22年度 第2790地区第45回RYLAセミナーへの出席とご挨拶を回覧。

ガバナー講話

梶原 等 第2790地区ガバナー



2021-22年度 第2790地区ガバナーを拝命しました梶原等と申します。千葉RCに所属しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年度はグループ再編の件、ガバナー補佐選出の件で地区内のクラブの皆様をお騒がせしました。唐突な話であったことに改めて反省しお詫び申し上げます。又、その再編等に関してご理解を頂きました皆様には改めてお礼申し上げます。

今年の1月に地区リーダーシッププランDLP特集号を月信で発行しました。ここで改めて地区のリーダーシッププランについて話をさせていただきます。

それでは、2790地区の歴史を振り返りましょう。

当地区は1951年、東京RCをスポンサーとして千葉RCが設立され、その後県内各地にクラブを作り展開してきました。それから70年が経過しました。会員数のピークは1997年に4337名を数え、クラブ数ではちょうど2000年に85クラブが存在しました。今はどうかと言いますと2021年7月1日現在、会員数は2665名、クラブ数は82クラブです。この一年で60数名の退会がありました。

そこで地区は戦略計画委員会を立ち上げ、ガバナー、エレクト、ノミニ、デジグネート、更には直近のpastガバナーとでメンバーを構成しました。地区事務所の課題や、グループ再編の件、あるいは地区として取り組むべき各種プロジェクトについて話し合っ方向性を検討しています。

地区としての課題は何と言っても各クラブの会員数の維持拡大とクラブの強化です。それには地区リーダーシッププランDLP、クラブリーダーシッププランCLP、クラブ戦略計画や地区戦略計画があります。昨年より引き継いだ課題にはガバナー補佐の負担の平準化やグループ再編、ガバナー補佐任命に関する事です。昨年は周知不足により大きな混乱になり、グループ再編は延期に、そしてガバナー補佐の選出に関しては課題が残っています。そして、地区グループの再編会議では今年度中に具体的な案を示し、それを各クラブへ周知し、具体的なアクションに結びつけるための準備をします。

そして2022-23年度には地区内へ周知し、広域的なクラブ間の交流を図ります。2023-24年度

には再編実施に向け一定の方向性を示します。

具体的には地区内を4つのブロックに分け、ガバナー補佐同士が横の連携を取りやすくすると共にそのことによりガバナーとの綿密な連携にもつながりその事からクラブの活性化にと役立てていきます。又ガバナー補佐の選出がもっと自由に柔軟になる事が望まれます。これらを今年度各クラブともう一度協議して参ります。

それでは、地区 リーダーシップ・プランを確認しましょう。DLPには以下の役職者に明確な責務と任務があります。「ガバナー補佐」「研修リーダー」「地区委員長」「クラブリーダー」

DLPによればガバナー(エレクト)は、ガバナー補佐を任命しそのガバナー補佐が担当するクラブを決め、そのクラブ群をグループと呼びます。

ガバナーに変わって担当するグループ群のゼネラルマネージャーは、RIや地区の意向などを具体的に各クラブへ向けて発し、サポートすることが役割です。

ガバナー補佐の役割(ミッション)とは・・・

1. 会員増を見据えた会員拡大計画(戦略)を具体的に
2. 財団・米山への寄付地区目標に関する対応と周知徹底
3. クラブ奉仕プロジェクトについて具体的サポート
4. 中期・長期計画(クラブ戦略計画)の策定
5. 例会の出席率向上・クラブ会員基盤の向上
6. 女性会員・ローターアクター等の交流活性化
7. クラブの長所(注目ポイント)を強化します！

これらがガバナー補佐の役割です。

そして、2021年度ガバナー補佐の方々には以下の事を依頼しております。

1. ロータリー地区情報研究会

新会員に職業奉仕を示しましょう！

2. IMは会員基盤向上セミナーとして奉仕プロジェクトや会員増強のインパクトのある事例を皆で学びましょう

(2つ以上のグループで広域的な集まりを！！持っていたきたい)

3. 環境保全プロジェクト・ポリオ根絶及びコロナ終

息祈願プロジェクト等・ロータリー広報公共イメージのPRも兼ねて地区としての奉仕プロジェクトを実施して参ります。

そして、2021-22年度 2790地区 スローガンを以下の様にさせて頂きました。

昨年度はグループ再編の件や、ガバナー補佐選出の件で地区の中が殺伐とした空気がありました。話が唐突であった等、もう少し相手の立場に立って物事を考え行動すればそのような事にはならなかったと反省をしております。愛情をもって接するという事を今一度見つめ直す意味でも、愛他精神、愛他主義である“Love Other Spirit”を地区のスローガンとさせて頂きました。そしてサブタイトルとして、～繋ごう次世代へ夢のある未来に向けて～ とさせて頂きました。

私達ロータリアンも次の世代にロータリーを渡していかなければなりません、受け継ぐ将来のロータリアンに対して、夢を語らなければなりません、夢ある未来を見せていかなければなりません。健康で安全な地球を、地域を次の世代に渡していかなければなりません。それが出来るのが私達ロータリアンです。そんな思いを合わせてスローガンとさせて頂きました。

それでも、ロータリーの基本は職業奉仕です！serviceです。しかし今はTAKE・ACTIONの時代になりました。ベテランのメンバーは若いメンバーには職業奉仕を伝え、若いメンバーはベテランメンバーにTAKEACTIONを理解してもらってください。その事がロータリーを輝かせ次の世代に繋ぐ事に結びつきます。

此処で私の職業奉仕の話をさせて頂きます。

私の職業は建築設備設計です、ここ数年はロータリーかもしれません・・・ロータリーで培った経験が今に生きています。私がロータリーに入会した当時先輩ロータリアンを見て私も将来は先輩ロータリアンの様に業界団体の役職を受け自らの職業の更に延長線上で活動していきたいと思いました。このロータリーで学ぶことにより、会社の若い社員を育てることに繋がり業界団体の役職を受け、県や国との連携も図れる仕事が出来ようになりました。

これらはほぼ同業・近い業種のクラブの先輩が背中を見せてくれたからです。職業でも次の世代に繋ぐ為に奮闘中です！

さて、話は変わります。私達ガバナーはガバナーに成る為の最後の研修である国際協議会へ参加します。その国際協議会場入り口の懸垂幕の標語です。

以前は「ENTER TO LEARN GO FORTH TO SERVE」(入って学び、出でて奉仕せよ)(1947-48年度S. ケンドリック ガーンシーRI会長テーマ)と記されていました。

私はコロナ禍の為にアメリカには行けず、バーチャルでの国際協議会でしたが、バーチャル上のステージにも「JOIN LEADERS EXCHANGE IDEAS TAKE ACTION」(リーダーたちが集まり、アイデアを出し合い、社会のために行動しよう)今はこの様に大きく変化してきたのです。

改めて、国際ロータリーはロータリーのビジョン声明を発表しています。私たちロータリアンは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します。

そしてロータリーの戦略的優先事項と目的は以下の通りです。

1. 「より大きなインパクトをもたらす」
2. 「参加者の基盤を広げる」
3. 「参加者の積極的な関りを促す」
4. 「適応力を高める」

その為には“大きな意識改革”が必要なのです。大きな変化と言えば昨年12月の事です。国際ロータリーが組織改革の発表をしました。いつの間にか国際ロータリーも組織運営の在り方を見直す時期に来たようです。100年続いた地区制度を刷新する様子。Shaping Rotary's Future “SRF” ロータリー未来形成、2018年7月にSRF委員会が発足。2020年12月に発表され2030年から改編案実施予定です。

具体的にははっきりしたことは解りませんが以下の事が発信されています。

国際ロータリー“未来形成”(SRF)について、国

際ロータリーは100年以上続いた地区制度を見直し、言語圏や文化圏等に分割した約40のリージョン(Region)に分かれ、1リージョンには 30~40 セクション(Section)。世界に1500のセクションが生まれれるということです。

構想・日本には102のセクションが生れる予定です。

セクションにはセクショナルリーダー(任期は2年で、選挙で選出します)

リージョンにはリージョンカウンスル(任期は3年で、選挙で選出します)

このように大きく変化する様です。

詳しいことがわかりましたら改めて通知します。

時代は変革期を過ぎ、既に新しい時代へ突入しております。ロータリーも新しい変化に対応していかなければなりません。時代の先を進まなければなりません。

次の世代に夢を繋いでいくのは“Mover'S(変革者)”である私達ロータリアンなのです！

此处で改めて確認です。

ロータリーの本質は？(service fellowship) 親睦と奉仕。

私達が向かう先は？どこでしょう。輝く未来でなければなりません。本質は決して忘れず、形の変化は恐れずに柔軟に！(多様性:Diversity)胸を張って“ロータリアン”として活動しましょう！！

地域に頼られるロータリーになりましょう！

多様性:Diversity・公平さ:Equity・開放性:Inclusionをもって、流石ロータリー、ロータリアンって言われる為に！高潔性;Integrityを大事にしましょう。そして個々のロータリアンが私の職業奉仕を語りましょう。語り合いましょう。そして伝えましょう！

流石ロータリアンって思われる様に自信をもって行動しましょう！

更に基本となるクラブは、RIや地区の変化に対し1応できる事です。自立したクラブである事です。組織の変化に柔軟に対応できる事です。各ロータリアンはロータリーの基本理念であるSERVICEを実践する事です。

今年度国際ロータリーのテーマです。

2021-22 国際ロータリーテーマ

SERVE TO CHANGE LIVES

奉仕しようみんなの人生を豊かにするために
です。

シェカールメータ会長はこの様にメッセージを発信しました。奉仕とは、自分が住むこの空間に支払う賃貸料であると。

Serve is the rent I pay for the space.
I occupy on this earth.

Love for others 他の方の為に生き

Care for others 世話をし

Serve others 奉仕する事です。

ヴィヴニューカーナンダ、インドの宗教家。

誰かを助ける時その人に恩を施しているとは考えないでください。実際にはその人たちがあなたに恩を施しているのです。私たちが世界から預かった恩恵への恩返しの機会を与えてくれている。人生では与えるもの、“つかえる者”になりなさい。与える時もつかえる時も常に謙虚であり“与えさせて頂けますか”。“つかえさせて頂けますか”とお願いをする気持ちになりなさい。誰かの為に生きてこそ人生は価値がある。

Only a life lived for others is a worthwhile. と仰っています。

そして以下のプロジェクトにチャレンジします。

一つは会員増強です。Each One Bring One.

つまり会員一人が一人を入会に導きましょう。

目標は、120万人⇒130万人へ17年間で達成できなかった事をこの1年間で達成させるというビッグプロジェクトです。

そして、女子のエンパワーメントです。

世界の中には女子という事で差別や不利益を強いられている。女子の教育、健康、経済的発展のスキルを与えましょう。女性ロータリアンの活躍が国際社会を変えていきます。日本のロータリーは女性メンバーにもっと機会を与えましょう。

3つ目は“ロータリー奉仕デー”です。

2つ以上のRC、RAC、IACが参加し25%は、市民団体や地域の人々の参加を促す。

ロータリー7つ重点項目で奉仕活動をお願いします。

最後にもう一度シェカールメータ会長の言葉を確認します。

船は港に居れば安全です。船の目的は港に居る事ではありません。大海に出てこそ船の目的が成就されるのです。変革者である我々は冒険でありメンテナンスではありません。

私達は奉仕し、みんなの人生を豊かにするためのパワーと魔法を持っています

TAKE・ACTION & CHALLENGE.

1年間どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ガバナー補佐挨拶

鈴木壮一 第5グループガバナー補佐



いつもお世話になっております。日頃はグループおよび地区へのロータリー活動にご理解ご協力いただきます事心より感謝申し上げます。

先日は海岸清掃プロジェクトそしてコロナ撲滅祈願プロジェクトに多くの会員皆様にご協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。

また先週のロータリー情報研修会には所属する岡元さんにもハイブリットセミナーのご協力いただきましたこと感謝申し上げます。

多くの来場者とオンラインで視聴いただきましたこと感謝します。本日はガバナー公式訪問です神子会長、岡田幹事にこの場を設けていただきありがとうございます、引き続き変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

地区大会について

向後勝弘 地区大会実行委員長



10月31日に開催された地区大会の報告と御礼、そして2022年5月23日に開催される、地区大会記念ゴルフ大会の案内がありました。

ニコニコBOX

飯島由美 親睦担当部員



福田順也G幹事 よろしくお願ひいたします。
神子勝美・岡田良弘・相川恵津子・朝月真次郎・
林 雅彦・飯島由美・栗原典子・岡元 誠・
佐々木和行・須藤 隆・若鍋武良・渡辺哲夫・
山下 厚・榎本守男・平川恵敏・石渡 鋼・
神子 恒・小野恒靖・三枝一雄・志波 克・
椎熊邦広・白石幸久・高橋裕之・渡辺 務
梶原ガバナーをお迎えして。
ガバナーを 迎へて海の 冬日濃く かずを

出席報告

若鍋武良 出席担当部員

区分	会員数	出席	欠席	MUp	出席率
今回	34/34	34	0		100%
前回	34/31	22	9		70.97%
前々回	34/31	22	9		70.97%

クラブ協議会

奉仕活動について

栗原典子 奉仕プロジェクト委員長



会員増強計画について

高橋裕之 会員増強委員長



会報・公共イメージについて

榎本守男 会報・公共イメージ委員長



相川恵津子会員進行の元、神子勝美会長による『クラブ戦略計画』に関する現況の全体説明の後、各委員長より報告がなされた。

ガバナー公表の後、渡辺 務直前会長による閉会の後、会食となりました。